

報道関係各位

2006年6月7日
緑内障フレンド・ネットワーク

6月7日“緑内障を考える日”制定1周年記念
緑内障啓発 チャリティー・コンサート
天満敦子ヴァイオリン・コンサート開催
～ 緑内障チェック無料体験会も～

緑内障の患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,800名)は、2006年7月30日、サントリー小ホールにて「天満敦子 無伴奏ヴァイオリン・コンサート～その世界」を開催いたします。

「望郷のバラード」で知られるヴァイオリン奏者、天満敦子(てんまあつこ)さんをお迎えした今回のコンサートは、6月7日の“緑内障を考える日”制定1周年を記念したもので、この機会に皆様に緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につなげることを目的としています。なお、このコンサートの収益金は緑内障の研究及び啓発に役立てるため、日本緑内障学会に寄付します。

また、コンサート終了後には、隣接する全日空ホテルの会場にて緑内障チェック無料体験会や緑内障フレンド・ネットワーク主催のお茶会もご用意しております。初期の自覚症状はほとんどない上、40歳以上の日本人の20人に1人が発症している緑内障、あなたもこの機会に無料チェックを体験されてみてはいかがでしょうか？

天満敦子 無伴奏ヴァイオリン・コンサート～その世界 概要

日 時:2006年7月30日(日) 午後1時開場 1時30分開演
会 場:サントリー小ホール(地図は同封のチラシをご参照ください)
演奏曲目:シャコンヌ(バッハ)、ねむの木の子守歌(山本正美)、望郷のバラード(ポルムベスク)他
参加方法:(一部を除き全席自由 定員360名)
チャリティーのため1口4,000円以上のご寄付に対し入場整理券を1枚発行
受付開始:2006年6月12日(月)午前10時より * 電話受付後、お振込みいただけます。
お問合せ:緑内障フレンド・ネットワーク事務局 TEL.03-3272-6971 担当:野田

----- コンサート終了後 -----

緑内障チェック無料体験会

会 場:全日空ホテル B1「グローリー」 午後4時～午後6時
参加方法:参加ご希望の方にはコンサート当日ホール内で入場整理券を発行(先着80名)
備 考:お一人約5分～10分で簡単なチェックが無料で体験いただけます

緑内障フレンド・ネットワーク主催 お茶会

会 場:全日空ホテル B1「グローリー」 午後4時15分～午後6時
参 加 費:お一人様3,000円(飲み物・お菓子付)
お申込み:往復はがきで下記事務局までお願いいたします(先着60名)
受付開始:2006年6月15日到着分より定員になり次第締め切らせていただきます。

* 代金は当日受付にてお支払いください。代金と引換に入場券をお渡しいたします。

お申込み・お問合せは

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-16-501 TEL:03-3272-6971

URL: <http://www.gfnet.gr.jp> E-MAIL: info@gfnet.gr.jp

主催：緑内障フレンド・ネットワーク

協力：(株)朝倉メガネ (株)オプテクス カールツァイスメディテック(株) 共信印刷(株) 参天製薬(株)
テイカ製薬(株) 日本アルコン(株) 日本製薬工業協会 万有製薬(株) ファイザー(株)

< 50 音順、敬称略 >

天満敦子(てんまあつこ)氏プロフィール

東京芸術大学・同大学院終了。6 歳よりヴァイオリンをはじめ、芸大在学中に日本音楽コンクール第 1 位。ロン・ティボー国際音楽コンクール特別銀賞等を受賞して注目を浴びる。海野義雄、故レオニード・コーガン、ヘルマン・クレッパーズらに師事。

1992 年「文化使節」として訪れたルーマニアで、「ダヴィッド・オイストラフ以来の感激」(同国文化大臣)と高い評価を受け、公演は空前の成功を収めた。翌年この訪問が縁で巡り合った同国の「薄幸の天才作曲家」ポルムベスクの「望郷のパラード」を日本に紹介、以後この作品は天満敦子の代名詞とさえ言えるほどのクラシック界異例の大ヒット曲となった。憂いをおびた美しい旋律とともに、曲に秘められたエピソードも話題を呼んだ。現在、東邦音楽大学大学院教授。

使用のヴァイオリンはアントニオ・ストラディヴァリウス晩年の名作。弓は伝説の巨匠ウージェーヌ・イザイ遺愛の名弓。

緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では 40 歳以上の 20 人に 1 人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第 1 位とされています。特に NTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)は緑内障の約 7 割を占めていると言われ、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプです。NTG は眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約 8 割から 9 割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためにも、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000 年 6 月 1 日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501 TEL:03-3272-6971 担当:野田